

2025 エグゼクティブ・コース
のご案内

EXECUTIVE

第28回テーマ

「混迷の時代をリードする」

～経営者に問われる構想力～

2025年 7/12(土)・13(日)

於：ホテルニューオータニ

一般財団法人ファッション産業人材育成機構

IFIビジネス・スクール

<http://www.ifi.or.jp/school/>

IFIビジネス・スクール

第28回 エグゼクティブ・コース

「混迷の時代をリードする」

～経営者に問われる構想力～

2024年11月のトランプ政権の復活以降、世界は政治的、経済的、そして社会的に混迷を極めています。ビジネスの世界ではトランプ政権の関税政策により、サプライズチェーンの見直しが求められています。地政学リスクはますます深刻化しています。それだけでなく、DE&I、地球環境保護など、それまで企業の社会的使命として正しいと考えられていたことが、否定されるような考え、動向も顕著になっています。何が正しいのかわからなくなっている時代の到来。その中で、世界中の人々、そして規模を問わず世界中の企業が、あまりにも激しい変化に翻弄されています。しかしそのような時代だからこそ、逆に何事にも振り回されない、強い信念に基づいた行動が、個人にも、企業にも求められるのではないのでしょうか。混迷の時代にこそ、個々人も、企業も、その真価、つまりそれぞれの生き方が問われるのです。

混迷の時代を切り開く鍵は、我々個々人の考える力、つまり構想力にあります。歴史的大局観に基づいて、自分にとって、自社にとっての正解を見つける力です。正解を見つけるためには、正しい問いも繰り返さなければなりません。2025年のエグゼクティブコースでは、構想力に基づいて独自の世界を切り開いてこられた方をスピーカーにお招きし、経営者に問われる構想力への理解を深め、混迷の時代を切り開く指針を掴みます。魅力的なセッション、ネットワーキングを通じて、混迷の時代をリードする鍵をつかんでください。ぜひとも2025のエグゼクティブ・コースにご参加ください。



一條 和生
(いちじょう・かずお)

一般財団法人ファッション産業人材育成機構
IFIビジネス・スクール学長
IMD (スイス・ローザンヌ) 教授

一橋大学大学院社会学研究科、ミシガン大学経営大学院卒
経営学博士 (ミシガン大学)

一橋大学大学院社会学研究科教授、経営管理研究科教授を経て、一橋大学
名誉教授。現在、IMD (スイス、ローザンヌ) 教授

専攻は組織論 (知識創造論)、リーダーシップ、企業変革論

現在、IFIファッションビジネス・スクール学長と並んで、株式会社シマノ社外取締役など4社での社外取締役、日本ナレッジマネジメント学会会長も務める。





「共振の経営」 ～唯一無二の人材と組織を育む～

混迷の時代、企業は経営陣のビジョンと現場の意識の乖離という課題に直面しています。この課題に対し、当社が独自に推進するマネジメントモデル「共振の経営」をご紹介します。

「共振の経営」とは、経営方針や戦略といった経営陣の視点と、現場の最前線で働く社員の知恵や経験といった双方の視点を、密なコミュニケーションによって融合させ、社員一人ひとりの主体的な行動を促進する仕組みです。世界各地に拠点を持つ当社の、多様な人材を「共振」させ、唯一無二の人材へと育成する具体的な方法を事例を交えながらご紹介させていただきます。

志手 哲也 (して・てつや) ユニ・チャーム株式会社 取締役 専務執行役員
共同 CIO (Chief Inclusion Officer) 兼 グローバル人事総務本部長

1962年大分県生まれ。1985年同志社大学を卒業後、ユニ・チャーム株式会社に入社。人事、生産、品質管理、お客様相談センター、ESG、リサイクル事業、経営企画、CQO (Chief Quality Officer)などを歴任。28年間は人事を担当し、「共振の経営」を浸透させることでグローバルの人材育成に取り組んできた。



「消費の風を読む」 ～個人消費の拡大と優勝劣敗の加速、広がる事業機会～

混迷の時代、企業の舵取りには、多面的な視点を持つことが不可欠で、業界の外側にある「消費そのもの」を理解することは特に重要な要素です。今回は、証券アナリストという資本市場に身を置く立場から、ファッション・生活関連産業を見る上で重要な、消費セクター全体の動向について、具体的な事例を交えながらお話しさせていただきます。所得の増加、物価の上昇によって始まる、企業の優勝劣敗と淘汰・再編。ただそれは事業拡大のチャンスでもあります。利を得る側で生き残り、成長し続けるために必要なことを考えていただく機会となれば幸いです。

風早 隆弘 (かざはや・たかひろ) UBS 証券株式会社
調査本部 マネージングディレクター／ジャパン・コンシューマー・ヘッド

15年以上にわたり小売りセクターの調査・分析に従事。2000年に株式会社伊勢丹（現株式会社三越伊勢丹）に入社、その後、野村證券にて株式アナリストとして小売りセクターのカバレッジを開始。2009年9月よりドイツ証券にて小売りセクターシニアアナリストを務めた後、2019年10月にクレディ・スイス証券株式会社に入社、株式調査本部長兼シニアアナリストを務めた。2023年9月よりUBS証券株式会社入社。東京工業大学大学院修士課程修了。ミシガン大学ロスコビジネススクールにてMBAを取得。日本証券アナリスト協会検定会員。





構想する力とは、自ら問いを立て、実行、検証すること ～顧客起点のマーケティング思考で考え、デジタルで見える化し、LTVで収益化する～

国内の人口減少が進んで経済も停滞する中で、企業が自然に成長する時代は終わりました。だからこそ顧客起点で市場を見つめ直して成長の新たなチャンスを見つけなければなりません。

マーケティング思考で顧客・市場の理解を深め、これまでの経験と勘をデータで可視化して、ビジネスを常に最適化しながら走りつづける。その為にはデジタルの活用が必須となります。

経営と現場をデータで結び付け、会議を経ずとも意思決定出来るスピード感を持ち、AI・デジタルを人が使いこなして、顧客のニーズに応え続け、企業も人も成長し続ける。そんな姿を実現するための思考と事例をご紹介します。

逸見 光次郎(へんみ・こうじろう) 株式会社 CaT ラボ代表取締役
一般社団法人日本オムニチャネル協会理事

70年東京生まれ。学習院大学文学部史学科卒。94年三省堂書店入社、99年ソフトバンク入社しeShopping!Books事業立ち上げ(現セブンネットショッピング社)、06年AmazonJapan入社 BooksMD、07年イオン入社 ネットスーパー事業立ち上げ後、デジタルビジネス戦略担当。11年カメラのキタムラ入社 執行役員EC事業部長。17年1月に独立。19年4月にCaTラボ設立。20年3月に日本オムニチャネル協会設立。

経営と現場、システムと営業、店舗とEC、販売と商品といった社内で対立しがちな組織を顧客起点のオムニチャネル戦略でまとめ、財務諸表とLTVを指標として収益化するコンサルティングを行う。



丸久の海外事業展開 ～グローバル・アパレルメーカーへの道のり～

肌着メーカーから子供服中心のアウトウェアメーカーへ転換し、プラザ合意後の円高を機に国内生産から海外生産へ移行。タイ、中国に拠点を広げ、2009年にはバングラデシュに生地から最終製品までの一貫生産工場を設立。

「日本バングラデシュ協会」企業委員会を通じ、日系企業とバングラデシュのネットワーク構築に貢献。日バ両国の文化・人材・地域間交流など、ビジネスを超えた活動にも尽力。欧州への販路開拓にも取り組むなど、グローバル・アパレルメーカーを目指す「丸久」の「これまで」と「これから」についてお話しさせていただきます。

平石 公宣(ひらいし・きみのぶ) 丸久株式会社 代表取締役社長／日本バングラデシュ協会 理事

1976年慶応義塾大学商学部卒、丸久株式会社入社。1981年同社取締役就任。

1990年MARUHISA INTERNATIONAL CO.LTD. (タイ) 会長就任。

1994年丸久時装有限公司(青島) 董事長、青島新東亜精練有限公司副董事長を経て、1998年丸久株式会社代表取締役に就任、2009年よりMARUHISA PACIFIC CO.LTD (バングラデシュ) 会長を併任し現在に至る。

(一社) 日本バングラデシュ協会理事、NARUTO JAPAN CO.LTD (バングラデシュ) 会長、徳島・日本バングラデシュ友好協会副会長を併任。



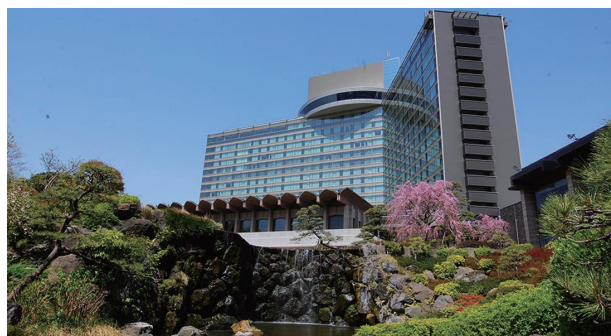
■ スケジュール ■

■ 7月12日(土) *チェックインをせず、直接会場にお越しください

時 間	内 容		会 場
10:00～10:10	挨拶/ガイダンス	理事長 鈴木 恒則	「舞の間」
10:10～10:40	自己紹介		
10:40～11:50	はじめに オープニングセッション	IFIビジネス・スクール学長 IMD (スイス・ローザンヌ) 教授 一條 和生	
11:50～12:50	昼食		
12:50～14:25	セッション1 トークセッション/質疑	「共振の経営」～唯一無二の人材と組織を育む～ ユニ・チャーム株式会社 取締役専務執行役員共同CIO兼グローバル人事総務本部長 志手 哲也 氏	
14:35～16:10	セッション2 トークセッション/質疑	消費の風を読む ～個人消費の拡大と優勝劣敗の加速、広がる事業機会～ UBS証券株式会社 調査本部 マネージングディレクター/ジャパン・コンシューマー・ヘッド 風早 隆弘 氏	
16:25～18:00	セッション3 トークセッション/質疑	「構想する力とは、自ら問いを立て、実行、検証すること」 ～顧客起点のマーケティング思考で考え、デジタルで見える化し、LTVで収益化する～ 株式会社CaTラボ 代表取締役 日本オムニチャネル協会理事 逸見 光次郎 氏	
18:00～18:10	本日のまとめ	学長 一條 和生	
18:10～	チェックイン		
18:45～20:45	懇親会		「翔の間」

■ 7月13日(日) *ご朝食はお配りいたしましたチケットの店舗にてご自由におとりください *各自、チェックアウトを済ませ、お荷物をお持ちの上ご集合ください

時 間	内 容		会 場
9:30	はじめに	学長 一條 和生	「舞の間」
9:40～10:50	セッション4	丸久の海外事業展開 ～グローバル・アパレルメーカーへの道のり～ 丸久株式会社 代表取締役社長 日本バンングラデシュ協会 理事 平石 公宣 氏	
11:05～11:45	トークセッション/質疑	学長 一條 和生	
11:45～12:50	昼食		「翔の間」
12:50～15:00	クロージング・セッション ディスカッション	学長 一條 和生	「舞の間」
15:15～15:50	まとめ	学長 一條 和生	
15:50～16:00	閉講	理事長 鈴木 恒則	
16:00	記念写真撮影		「翔の間」



■ ご 案 内 ■

■ 開催要綱

- 【開催日】** 2025年7月12日(土)～13日(日)
- 【会場／宿泊】** ホテルニューオータニ
〒102-8578
東京都千代田区紀尾井町4-1
TEL: 03-3625-1111 (代)
- 【対 象】** 経営者・経営幹部役員及び、役員候補の方
- 【定 員】** 40名
- 【受講料】** おひとり様 275,000円 (消費税込)
※7月12日の宿泊費および12日昼から
13日昼までの食事代を含みます
女性幹部候補の方のご参加を歓迎いたします

■ お申込方法

- ①ホームページより
<https://www.ifi.or.jp/course/executive.html>
- ②Eメール
別添の申込書に所定の事項を
ご記入の上PDFにてお送り
ください
【送信先】 nagai@ifi.or.jp
- ③ファックス
別添の申込書に所定の事項をご記入の上お送り
ください
【送信先】 03-5610-5710 (FAX)



■ 会場のご案内

ホテルニューオータニ
<https://www.newotani.co.jp/tokyo/access/>
ザ・メイン アーケード階 (地下1階)「舞の間」
<https://www.newotani.co.jp/tokyo/map/>

■ お問い合わせ

一般財団法人ファッション産業人材育成機構
IFIビジネス・スクール「エグゼクティブ・コース」
【担当】 永井
Eメール nagai@ifi.or.jp
TEL 03-5610-5701 (代)

■ IFIビジネス・スクールについて ■

日本のファッション・ビジネスの次代を拓く「人材」を育成します

グローバル化、技術革新、消費者のライフスタイルの多様化など、ファッション産業を取り巻く環境は、目まぐるしいスピードで変化しつづけています。こうした時代の変化に対応し、国際的な視野を持つプロフェッショナルな人材を育成するため、国、自治体、業界の企業の支援を受け、一般財団法人ファッション産業育成機構が設立されました。IFIビジネス・スクールは、この財団法人が運営する、世界でもユニークなビジネス・スクールです。

実際のビジネスを体で覚える「実学」の精神を基本に、モノ作りから小売に至るまでの全般に通じる業界のリーダーとなる人材の育成を通じ、繊維ファッション業界の発展に貢献します。

■ IFIビジネス・スクールの歴史

- 1992年 財団法人ファッション産業人材育成機構 設立
- 1998年 IFIビジネス・スクール開校 (学長 山中鎮)
- 1999年 尾原蓉子学長就任
- 2000年 IFI総合研究所設立、大学講座・カスタムメイドプログラム スタート
- 2006年 eラーニング講座スタート
- 2011年 「IFIファッションビジネス研究会」発足、第1回研究会を開催
- 2014年 一條和生学長、花崎淑夫名誉学長就任
- 2017年 財団設立25周年 IFIビジネス・スクール開講20周年「感謝の集い」
- 2022年 財団設立30周年 IFIビジネス・スクール開講25周年

